| 学校番号 | 3032B |
|---|---|

# 令和８年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | (学)生涯発達論B | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主制作教材 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| 青年期・成人期・老年期における課題を心理学の観点から捉え、日常の生活の中で使われている身近な心理学を対人支援の中で活かせるようにしよう。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| ・自分のパーソナリティを知り、各発達段階での特徴を理解し、それぞれの課題・問題点を心理学的な見地で捉え、人の立場や気持ちを理解し、対人支援するうえで実践できるようにする。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・青年期からの発達段階で成人期・老年期でのそれぞれの課題を、理解する。<br>・社会心理学として、日常生活の中で、私たちがどのような行動をとっているのかを知る。<br>・心理学的技法を知り、カウンセリングについて学ぶ。 | ・それぞれの発達段階での課題に対して、どのように対処していけばいいのかを考える。<br>・様々な人間関係の中で、相手の心理を理解し、円滑な関係を保つために何をすればいいのかを考え、それを行動に移せるようにする。 | ・人の話を積極的に聞き、また自分の意見をまとめるために意欲的に授業に取り組んでいるか。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 後期 | 青年期以降の発達と課題 | 発達心理学<br>青年期<br><br>成人期<br><br>老年期<br>エイジング<br><br>社会心理学<br><br>カウンセリングと心理療法<br>カウンセリングとは<br>心理療法の種類 | a: それぞれの発達段階における課題にはどのようなものがあるのかを理解する。<br>日常生活における身近な心理学にはどのようなものがあるのかを知る。<br>カウンセリングの方法をしる。<br><br>b: 発達段階におけるそれぞれの課題に対してどのように対処するかを考えることができる。また円滑な対人関係を築くために、どう活かせばいいかを考える。<br><br>c: 課題に対して、主体的に取り組もうとしている。<br>学んだことを人間関係の中で活かそうとしている。 | ・単元考査<br>・プリント<br>・定期考査 | ・単元考査<br>・プリント<br>・定期考査<br>・レポート | ・授業に積極的に参加する態度<br>・レポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度